

平成29年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業区分	番号	事業名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 S 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し
							総事業費	進捗率	事業進捗内容			
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
海岸事業	3	的矢港海岸（海岸高潮対策事業）	志摩市	③	【全体事業概要】 [的矢地区] 護岸(補強):1,373m 陸閘(改良):7基 【目的】 当海岸の既設護岸は、老朽化による損傷が著しく、高潮や高波等により護岸が破堤し、背後の人家密集地域が浸水被害を受ける恐れがあります。また、南海トラフ地震・津波による浸水被害も懸念されています。 当事業の目的は護岸の補強や陸閘の改良を行うことで、高潮・高波等の異常気象による背後地への越波・越流を未然に防止し、浸水被害から生命・財産を守ること、また、地震・津波による死者数を限りなくゼロに近づけることです。	S61	7,060	63.3%	【整備済み内容】 [的矢地区] 護岸(補強):1,113m 陸閘(改良):7基	【社会的状況の変化】 防護区域は、依然として人家が密集しており、防護の必要性に変化はありません。 また、南海トラフ地震の発生が危惧され、津波による甚大な被害が想定されるなか、志摩市では、津波から避難する防災訓練を毎年実施するなど、防災意識は高まっています。	【費用対効果分析】 B/C=1.82 【コスト削減】 複雑なリアス式海岸であるという地形条件に配慮し、詳細な土質調査を実施し、その調査結果を踏まえて、設計工区を細分化し、工区別に比較検討を行い、より経済的な断面を採用するなど、設計時において可能な限りコストの削減に取り組んでいます。 【代替案】 漁業や航路利用への影響から前面海域を縮小することなく、地震時の液状化に対応した複数の工法を比較検討した結果、他に代替案は考えられないことから現計画で整備を進めることが妥当であると判断しています。	【今後の見通し】 今後の整備区間は作業環境が厳しく、財政状況についても厳しい状況が予想されますが、引き続き事業の進捗を図り平成43年度の完成を目指します。
					S	7,060	63.3%					
					H43	—	—					

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業